

JCMU newsletter

ミシガン州立大学連合日本センター
The Japan Center for Michigan Universities

No. 54
2012 夏

Benjamin McCracken, JD
Resident Director
of The Japan Center For Michigan Universities

Director's Report

ベンジャミン・マクラケン
ミシガン州立大学連合日本センター所長

Welcome to this edition of the JCMU Newsletter. There are many exciting things happening at JCMU. It is my pleasure as the Resident Director to tell you about what is happening at JCMU. First, let me introduce myself. My name is Benjamin McCracken. I was born and raised in Michigan. I came to Japan in 1998 and studied Japanese and Japanese culture at JCMU for an academic year. After returning to Michigan I graduated from Northern Michigan University. After graduating from university I decided to return to Japan to teach English in Kyushu. I enjoyed teaching English and have many fond memories of my time in Kyushu. After a year and a half I decided to return to Michigan so I could pursue a career in law. I graduated from the University of Detroit Mercy School of Law in 2005 and went to work for the Michigan Supreme Court. After finishing at the Michigan Supreme Court I worked for the Jaffe Law Firm and did international litigation focusing on Japanese business. I was able to come to Japan several times as a lawyer to meet with clients. I always tried to make it back to Shiga and often took my coworkers to Omihachiman to climb Chomeiji, my favorite temple in Japan.



JCMUニュースレターの今号をご覧いただき、ありがとうございます。

JCMUでは、多くの胸を躍らせることがあります。私は所長として、JCMUでのことをお話することをとても嬉しく思います。

まず始めに、私の自己紹介をいたします。私の名前は、ベンジャミン・マクラケンで、ミシガンで生まれ育ちました。1998年に日本に来て、JCMUで日本語と日本文化について1学年間勉強しました。

ミシガンに戻った後、私はノーザン・ミシガン大学を卒業しました。大学卒業後、私は日本に戻り、九州で英語を教えることを決心しました。英語を教えることはとても楽しく、九州では多くの楽しい思い出ができました。1年半経って、私はミシガンに戻って法律家としてのキャリアを目指すことにしました。2005年にデトロイト・マーシー大学法科大学院を卒業し、ミシガン州最高裁判所に就職しました。ミシガン州最高裁判所を離職後、私はジャフィ法律事務所に勤め、日本企業に関わる国際訴訟を中心に担当しました。そこで、私は弁護士としてクライアントと会うため、しばしば日本を訪れることができました。その際は、いつも滋賀に戻ることを

試み、よく同僚と近江八幡の長命寺に登りました。長命寺は、日本で最も好きなお寺です。

I was very happy to get the chance to move back to JCMU and Hikone this past January. Many things have changed in Shiga, especially around Hikone. It is hard to believe but there was no Hikonyan when I was a student. Despite all of the changes in Shiga one thing that has not changed is the kindness of its people. I am always pleasantly surprised by just how nice everyone is in Shiga. I truly feel as if I have a second home here. I am looking forward to making JCMU an even better place for both the students coming from the United States but also for our English Language students as well.

私は、今年1月にJCMUにそして彦根に戻るチャンスを得て大変嬉しく思いました。滋賀では、特に彦根周辺では、いろいろなことが変わっていました。信じがたいことですが、私が学生の頃、ひこにゃんはいませんでした。多くのことが変わっていましたが、変わっていないのは人々の優しさです。私はいつも、滋賀の誰もがとてもいい人達であることに嬉しさをもって驚かされます。そして、ここに第二の故郷を持っているように心から感じています。私は、JCMUがアメリカから来る学生達だけでなく、私たちの英語プログラムの受講生の方々にとってもより良いものとなるようにしていきたいと思っています。

I am pleased to announce that JCMU's new English Language Program Coordinator started in August. The new English Program Coordinator is Marilyn Schlieff. Marilyn has lived in Shiga before as an exchange teacher in Moriyama. She has also been active in the Michigan-Shiga Sister State Program back in Michigan and hopes to continue to build on the sister state relationship while in Shiga. She has been part of numerous Good Will Missions and has many friends around Shiga. Marilyn is an excellent English teacher and just spent the last year in Vietnam teaching students there. If you haven't met Marilyn before please stop by JCMU and say hello.

JCMUでは、8月から新しい英語プログラム主任教官を迎えました。その英語プログラム主任教官は、マリリン・シュライフです。彼女は、守山での交換教員として滋賀に住んだことがあります。彼女はミシガンと滋賀の姉妹交流事業にも積極的に関わってきており、今後、滋賀でその関係強化を続けていくことを希望しています。彼女は多くの友好親善使節団に関わり、滋賀を中心に多くの友達があります。マリリンは優れた英語教官で、去年はベトナムで英語を教えていました。もし、マリリンに会われたことがなければ、是非JCMUで彼女に声をかけてください。

This Fall JCMU will welcome approximately 40 students from the United States. I can't help but think back to when I arrived in Shiga in 1998. I was filled with wonder but was also a bit scared about being in a new country. Thanks to the wonderful people of Shiga I soon got over my fears and was able to really enjoy being here. I hope the new students arriving in September will have as much fun and learn as many things about Japan as I did.

この秋、JCMUは約40人の学生をアメリカから受け入れます。私は1998年に滋賀に来た時のことを思い出さずにはいられません。その時、私は新しい国でのことについて、戸惑いと少し恐怖心を抱いていました。しかし、滋賀のすばらしい人々のおかげで、その恐怖心はすぐになくなり、ここでの生活を本当に楽しむことができるようになりました。私は、9月に到着する新しい学生達に私と同様生活を楽しみ、日本について多くのことを学んでくれることを期待しています。

サマーインターンシッププログラム体験記

JCMUでは、アメリカの大学で高まる日本でのインターンシップへの期待に応えるため、今年度から新たにサマーインターンシッププログラムを開始しました。その一環として、日本の企業や公共団体等に研修生の受け入れをしていただいています。

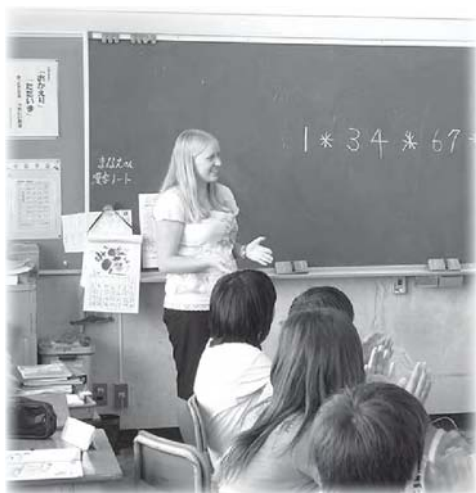
2012年度は、5月上旬から7月下旬まで8名の学生がサマーインターンシッププログラムに参加しましたが、そのうち2名のインターンシップ体験記（英語・日本語とも本人記載）を紹介します。

「小学校でのインターンシップ体験」

アデリン・ガイセルさん

I am currently doing an internship at elementary schools in the Hikone area. The relationship between the children and their teachers seems to be one of respect and they listen to what their teachers say. Through this internship I had the ability to think on the student-teacher relationship. The children pay attention to the teacher's body language, such that the teacher doesn't have to really say anything, but rather, through expressive body language, the children know what the teacher is expressing. For example, when the kids got too noisy, the teacher covers her ears and makes a pained expression on her face, which quickly makes the children realize they are being too noisy, and they quiet down a little bit. I thought that this teaching style was interesting, and also a good idea for teaching young children. Instead of only telling the kids, by using body language to teach them, it makes it easier for the children to understand not only what they should do, but also how what they are doing at that present moment is affecting others. Also, I learned that the start and end times for classes in elementary schools in Japan are not as strict as in America, where the start and end times are relatively strict.

私は彦根市内の小学校でインターンシップをしています。子供達と先生達の関係は尊敬の関係みたい



小学校でのインターンシップの様子

で、ちゃんと先生の言うことを聞きます。インターンシップをとおして、その関係についてよく考えました。子供達が先生のボディランゲージをよく見ると、先生が言わずに子供達が分かります。例えば、子供達がうるさすぎる時、先生は耳を隠して、顔が痛そうな感じをして、子供達が「私達はうるさすぎる」ということが大体分かって、もうちょっと静かにします。この教え方は面白いと思います。そして、小さい子供にいい教え方だと思います。言うだけより、ボディランゲージで教えると、その子供達が最も分かりやすい教え方だと思います。それから、日本の小学校は授業の始めと終わりの時間は厳しくないと思いました。アメリカでは、小学校でも、はじめと終わりの時間は厳しいと思います。

「国際ビジネスでのインターシップ体験」

ステファニー・テンチさん

My experience at my internship at JCMU is one that I will never forget. I am doing an international business internship doing liaison work for a laser company called IMRA America. Their headquarters is in Ann Arbor so I do translating for their Japan Branch Office both from Japanese to English and English to Japanese. Not only do I translate but I also work on business relations between the two companies. I recently finished a project where two students from Nagoya Institute of Technology's solar car team will visit University of Michigan and I helped with the itinerary. I worked with the Japan Branch Office, IMRA headquarters, and the University of Michigan in creating plans for their visit. I have met great people during my internship that have been willing to help me improve my Japanese and have become great friends. This internship has been a great experience for me giving me great memories and experience I need for my future that I can take back to the US.

JCMUのインターンシップで得た経験を忘れられません。今、IMRAアメリカというレーザー会社で国際ビジネスのリエゾンとしてのインターンシップをしています。IMRAの本社はアナーバーにありますから、日本の会社のために英語から日本語に、日本語から英語に翻訳します。翻訳だけでなく、アメリカの本社と日本支社との連絡をします。最近、名古屋工業大学のソーラーカーチームの二人の学生のミシガン大学訪問についてのプロジェクトを終了しました。IMRAの日本支社とIMRAアメリカとミシガン大学の連絡をして、訪問の計画を作りました。今年の夏、インターンシップですばらしい人たちに会うことができました。皆さんが手伝ってくれたおかげで私の日本語が上手になりました。インターンシップで皆さんは私のいい友達になりました。このインターンシップは私にいい思い出と将来のために経験をくれました。そして、アメリカでこれらの経験を活かしていきたいと思います。



企業でのインターンシップの成果発表の様子

インターンシップ受入のお願い

JCMUでは、今回紹介したサマーインターンシッププログラムの他に春学期（2～3月）および秋学期（10～11月）にも週1回午後3時間程度のインターンシップを実施しています。教室で学んだ日本語を実際の場面で応用することでスキルアップを目指すとともに、日本の組織の中で、日本人と関わり合いながら仕事を体験し、日本文化、習慣、考え方などの理解を深めていくために大変有効です。このため、JCMUでは、専任のインターンシップコーディネーターを配置して、様々な調整や学生と企業等の橋渡しをしております。インターンシップを受け入れていただける企業、公共機関などを募集していますので、広くご協力をお願いいたします。

JCMUでの防災対策

2011年3月11日、わが国観測史上最大規模の東日本大震災が発生し、死者、行方不明者合わせて2万人に迫る戦後最大の災害となりました。

被災された皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、仮設住宅やふるさとから離れた生活を余儀なくされている方々が少しでも早く安定した暮らしを取り戻せる日が訪れることを願っております。

JCMUでは、地震や火災に対する防災対策を重要事項として位置付け、各日本語プログラム開始直後のオリエンテーションで、「地震が起こった場合の対処法」、「火災への対応と避難の方法」、「消火器の使い方」、「119番の方法」などについて説明し、「自分の生命を守ることが何より大切」であり、火事を起こさないための「火の元注意」を強く呼び掛けています。

また、できるだけ早い機会に、消防署の協力をいただき、実際の避難や消火器の使い方についての防災訓練を行っています。



2012年6月 防災訓練の様子

JCMU新任英語プログラム主任教官のご紹介

Marilyn Schlieff -マリリン・シュライフ-

アメリカにおける英語教育に関しては一般のコースのみならず、TOEFL[®]やTOEIC[®]、IELTS[™]などの資格試験準備コース、英語教員育成カリキュラム作成などに携わるとともに、滋賀県との各種の姉妹交流事業で教師やコーディネーターとして活躍してきた新英語プログラム主任教官が、8月に就任しました。

今後、マリリン教官の企画のもと英語プログラムの充実を図っていきますので、よろしく願いいたします。

マリリン教官を講師とした公開講座「効果を実感できる実践英語学習法」を開催します。

9月1日(土) 午前10時~11時30分
(会場: ミシガン州立大学連合日本センター)
9月8日(土) 午前10時~11時30分
(会場: ウイングプラザ栗東)
詳しくは、案内ちらしをご覧ください。



JCMU英語プログラム 2012秋季受講生募集!!

<彦根コース>

ミシガン日本センター(彦根市松原町)
9月24日(月)~12月15日(土)
集中コース…月~金(週10時間~)
スキル・テーマ別コース…週1回~
夜間・土曜日にも開講しています。

<栗東コース>

ウイングプラザ(栗東市糺)
9月25日(火)~12月11日(火)
夜間コース…毎週火曜日午後7:30~9:00

<大津コース>

New Location!!

滋賀県教育会館(大津市梅林)
9月26日(水)~12月12日(水)
夜間コース…毎週水曜日午後6:30~8:00

*受講時間数によっては、センター付属の宿泊施設に入寮し、アメリカからの留学生とルームメイトになることも可能です。

以上3コースの申込締め切り9月15日(土)

★土曜こども英語教室★ ★2012秋季受講生募集!!★

2012年10月20日~2013年3月23日
毎週土曜日
(祝祭日および12月22・29日、1月5日を除く)
申込締め切り10月6日(土)

詳しくは、案内パンフレットをご覧ください。

ミシガン州立大学連合日本センター

〒522-0002
滋賀県彦根市松原町網代口1435-86
TEL 0749-26-3400 FAX 0749-24-9356
URL <http://www.jcmu.net>
■編集・発行 (財)滋賀県国際協会 彦根事務所